単 元 名	Speaking Plus	配当時間	６～１１時間
単元の目標	(1) 生活における各場面において，適切な表現を用いて積極的に対話をしようとする。 (2) 場面に応じた適切な表現で話しかけたり，応対したりすることができる。 (3) いろいろな慣用表現や場面に特有な表現の意味と機能，対話におけるマナーを理解することができる。		

☆本単元では，主に日常生活の中でよく使われる慣用表現や，ある特定の場面でよく使われる表現を身に付けさせ，生活の中で積極的に英語を使おうとする意欲を育てたい。

場面に応じた対話をしてみよう。

①★**SP1** 人を呼び止めたり，お礼を言ったりする表現を知り，練習する。
評人を呼び止めることや，お礼を言ったり，お礼に答えたりすることができる。（発表・観察）
②★**SP2(1)** 謝罪やそれに対する応答，聞き返しの表現を知り，練習する。
評人に謝ったり，相手の言ったことを聞き返したりすることができる。（発表・観察）
③ **SP2(2)** モデル対話をもとに自作スキットをつくり，発表する。
④★**SP3(1)** 目的地へ行くのに適した乗り物の尋ね方や教え方を知り，練習する。
評目的地へ行くのに適した乗り物を尋ねたり，教えたりすることができる。（発表・観察）
⑤ **SP3(2)** 乗り物での行き方を尋ねたり，教えたりする対話の自作スキットを作り，発表する。
⑥★**SP4(1)** 自分の生活パターンを英語で発表する。
評自分の一日の生活を英語で発表することができる。（発表・観察）
⑦ **SP4(2)** 友達が普段どんなふうに生活しているかを尋ね，わかったことを発表する。
⑧★**SP5(1)** 電話での簡単な応対の仕方を知り，練習する。
評電話で正しく相手に応対し，招待したり誘ったりすることができる。（発表・観察）
⑨ **SP5(2)** 電話で友達を誘ったり招待する対話の自作スキットをつくり，発表する。
⑩★**SP6(1)** 親しい人への許可の求め方，依頼の仕方やそれに対する応答の仕方を知り練習する。
評家族や友達に許可を求めたり依頼をしたりするとともに，それらを受け入れたり断ったりすることができる。（発表・観察）
⑪ **SP6(2)** 親しい人に許可を求めたり，依頼をしたりする対話の自作スキットをつくり，発表する。

①・対話による口頭導入
・ロールプレイの相手
・welcome以外のお礼に対する応答の表現の提示
②・対話による口頭導入
・ロールプレイの相手
・That's all right.以外の謝罪に対する応答の表現の提示
③・自作スキットへのアドバイス
・発表に対するコメント
④・対話による口頭導入
・ロールプレイの相手
⑤・自作スキットへのアドバイス
・発表に対するコメント
⑥・対話による口頭導入
・T or FまたはQ & A
・発表に対するコメント
⑦・問答の例示
・生徒同士の問答の支援
⑧・対話による口頭導入
・ロールプレイの相手
・T or FまたはQ & A
⑨・自作スキットへのアドバイス
・発表に対するコメント
⑩・対話による口頭導入
・ロールプレイの相手
・T or FやQ & A
⑪・自作スキットへのアドバイス
・発表に対するコメント

o 自作スキットを作らせたときには全員に発表の機会を与えたい。グループ内発表→グループ代表による学級発表の形を取ると時間に余裕が生まれる。
o 自作スキットを作らせる際にはツールボックスを参考にさせたり，ＡＬＴなどに別の表現を紹介させるなどしてバラエティに富んだものを作らせたい。
o ④の道案内や⑧の電話に関する表現は１年生～３年生までの各学年で扱われている。他学年との関連を十分考慮して指導を工夫していきたい。